

NEWS RELEASE

ナイス株式会社

2018年3月6日

愛知県豊田市による県内初のPPP方式を採用した市営住宅が完成

「森でつながる街～豊田市産材＋スマートウェルネス住宅」を供給

～豊田市内の森林の木材を使用、地域と環境に配慮した集合住宅を通じて市民の定住促進に貢献～

◆ ニュースポイント ◆

- ナイス株式会社（社長：平田 恒一郎、本社：神奈川県横浜市）は、愛知県豊田市が定住人口の増加を目指す施策の一環として行う、家族形成期世代（世帯主が25～39歳の子育て世代）など一時的な生活困窮者向けの市営住宅の整備事業等において、2017年に同市が実施した愛知県内初のPPP方式（※）による「豊田市営樹木住宅買取整備事業」の公募型プロポーザルに参加し、企画・提案が採択され、総工期約8ヶ月を経てこのほど市営住宅および付帯施設等が完成いたしました。

※PPP方式とはPublic（公共）、Private（民間）、Partnership（連携）の略で官民連携手法の総称です。

このたびの公募型プロポーザルは、設計・施工を一括して民間事業者に発注することで安価かつ早期に建設を行うことを目的としたものです。

- 弊社が企画・提案した「市営樹木住宅」のコンセプトは「森でつながる街～豊田市産材＋スマートウェルネス」であります（資料1参照）。豊田市は森林が面積の約7割を占めており、弊社は同市の中心部を流れる矢作川（やはぎがわ）の流域にある立木を使って製材したスギ、ヒノキなどの木材を使用した木造の集合住宅を提案し、自然と地域社会、人々がつながる街づくりを目指すことにいたしました。また、お住まいになる方々が快適、健康に暮らすことができ、かつ経済性の面でも効率的なスマートウェルネスの考え方を取り入れ、現行の省エネルギー基準よりも高い断熱性能とすることで冷暖房効率に優れた住空間を提供するとともに、結露等によるカビやダニの発生を抑え、内装の一部を木質化することなどにより、人に優しく過ごしやすい環境を実現いたしました。さらに、南海トラフ巨大地震の発生確率が30年以内に70～80%へと引き上げられたなか、大地震にも安全・安心とされる耐震等級3（最高等級）の耐震性能をすべての建物において標準といたしました。

- 「市営樹木住宅」は全11棟、48戸からなり、バリアフリーに配慮した平屋建て住戸（単身・2人世帯向け）の1LDK14戸、1・2階で1戸とするメゾネットタイプ（3人世帯以上向け）の2LDK34戸となっております（資料2参照）。各棟の玄関は、敷地内の中心通路となる「樹木広場」とそれにつながる小路に向いており、居住される皆様、お子様から高齢者まで多世代が共生して交流が図れ、相互の見守りにもつながるコミュニティーを形成いたします。また、民間による建物管理サービスを導入し、共用部の清掃や植栽等の管理を委託するとともに、建物の設計図面、基本的な仕様に関する情報や、維持管理・メンテナンスなどの記録をデータベースに蓄積する「いえかるて」を採用するなど、将来にわたって安心してお住まいいただける体制を整備しております。

- 弊社グループは、住宅建築用木材を取引する木材市場事業をルーツとし、木材・建材・住宅設備機器など建築資材の国内流通・輸入等を行う建築資材事業、一般住宅よりも高い性能・仕様を標準とする長期優良住宅を超える家「パワーホーム」の請負・分譲およびマンション分譲、不動産仲介事業等を行う住宅事業、中・大規模木造建築物等の企画・構造設計・施工を行う建設事業など、木造建築をベースに幅広く住生活・建設関連事業を全国で展開しております。現在は、耐震・省エネ・環境といったテーマに加え、主力の木材事業を横串として事業間相互のシナジーを發揮するとともに、人々が安心してご利用いただける住生活産業の構築に取り組んでおります。「市営樹木住宅」では、弊社グループの有する総合力を通じて、地元木材の調達、建物の企画・設計・施工、完成後の建物の管理・アフターメンテナンス、自治会の運営まで、将来にわたり居住される皆様に広く貢献できる事業体制を確立し、全国の自治体によるニーズはもちろん、さまざまな住まい、建築物に対する多様なご要望にお応えしてまいります。

- 「市営樹木住宅」の工事・物件概要は下記の通りであります。

工事名称：豊田市営樹木住宅新築工事

工事場所：愛知県豊田市樹木町 4-27-2

設計監理：ナイス株式会社

施工：ナイス株式会社

管理受託：ナイスコミュニケーションズ株式会社

全体工期：2017年7月1日～2018年3月20日

敷地面積：8,032.43 m² (坪)

建築面積：1,940.14 m² (坪)

延床面積：2,826.89 m² (坪)

構造：木造軸組工法（パワービルド工法）

棟数：全 11 棟

戸数：総戸数 48 戸（平屋建て 3 棟・14 戸、40 m²、2 階建て 8 棟・34 戸、55 m²）

駐車場：全 50 台（全戸分 48 台+管理用 2 台）

地域木材使用量：約 137 m³（使用量の約 30%につき、豊田市産材・矢作川流域材を採用）

- 「市営樹木住宅」は、3月20日をもって愛知県豊田市に引き渡しをする予定であります。それに先立ち、報道機関の皆様を対象に下記の通り完成見学会を開催させていただきます。

日時：2018年3月19日(月) 10:00～16:00 ※事前にご予約を承ります。下記にご連絡ください。

場所：愛知県豊田市樹木町 4-27-2 市営樹木住宅 現地 ※敷地内駐車場がご利用いただけます。

なお、上記日程以外の見学・取材をご希望の方につきましても、下記までご連絡ください。

◆ ご参考（事業会社 概要） ◆

商号：ナイス株式会社

所在地：神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 4-33-1

系列：すてきナイスグループ株式会社（東京証券取引所市場第1部上場）

創業：1950年6月23日

事業内容：建築用木材・建材・設備機器等の国内流通・輸入、一戸建住宅およびマンション供給、不動産仲介、中・大規模木造建築物等の建設、ほか

売上高：2,464億円（2017年3月期・連結）

従業員数：2,358名（連結）

県内拠点：小牧市場・小牧営業所・リビングMD事業部名古屋営業所、住宅システム事業部名古屋営業所・春日井物流センター、岡崎営業所、住まいるCafe豊田、住まいるCafe名古屋東の計5拠点

この件に関するお問い合わせ先

ナイス株式会社 広報室 森、内野 TEL：(045) 501-5048
〒230-8571 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 4-33-1 ナイスビル 8F

■ 豊田市の森（矢作川流域）とともに暮らす
豊田市面積の7割は森林で、その多くは矢作川流域にあり、そこで暮らす人々は、山の恵み、川の恵み、水の恵みを受けています。矢作川流域の豊かな恵みを受けた木材を使い、多彩な自然を取り入れた家づくりは、産業・自然・文化をつなぎ、そして森を再生していきます。



「森でつながる街」

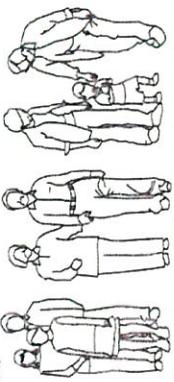
～豊田市産材＋スマートウエルネス～

これから街づくりで大切なことは、地元の生態系を知り、活用し、共存することで、植物、生物、人の多様性を守ることです。
私たちは、豊田市の自然の恵みを大切にし、地域や多世代にわたる人々のつながりをもつた穏やかな暮らしができる街を考えました。
豊田市の自然・産業・文化とのつながりを尊重し、ここに住まう人が、地域社会でますます生き生きとした生活を育むことができる「樹木住宅」を提案します。



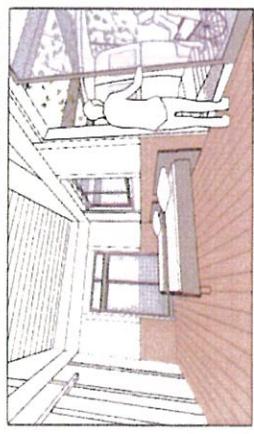
■ 自然と地域社会、人々がつながる街

あらゆる世代で住みやすい設計にして、多世代に渡って地域住民がつながる街、街を横断する中庭空間（樹木広場）をつくることで、住まう人と地域社会とのつながりを重視しました。



■ 入居者が健康で暮らすことのできる空間

自然素材である木の力を最大限に活かすこと。人の精神にも、さまざまな良い影響を及ぼすと言わざる木村を使い、安らかに暮らすことができる室内環境を実現します。

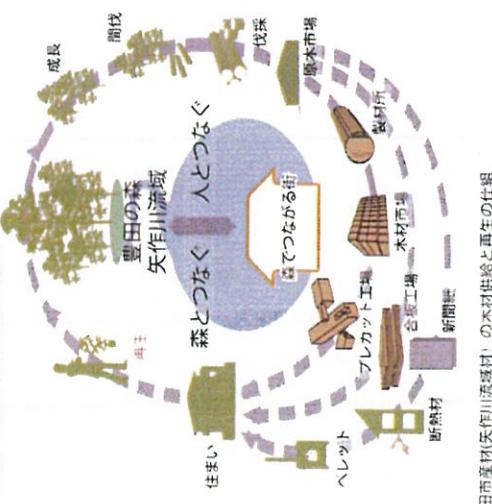


■ UA値 = 0.6以下、ZEHを見据えた断熱性能
断熱性、気密性を高め、冷暖房のエネルギー消費による熱負荷を大幅に削減し、冬暖かく、夏涼しい空間を実現。外皮UA値（=断熱性能）を全戸0.6以下とし、将来的ZEH化に対応することとしました。



■ 豊田の森の木材を使うということ

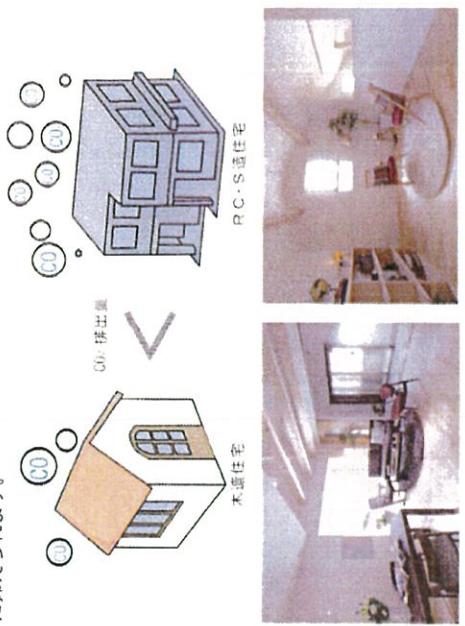
普段から生活の上で、山の恵み、川の恵み、水の恵みを受けている住民が、家を建てる際に豊田市産材（矢作川流域材）を使い、生活の上でも、豊田市の森（矢作川流域）の多彩な恵みを積極的に取り入れることで、地域の産業、自然、文化の再生を実現します。



1 豊田市産材(矢作川流域材) の木材供給と再生の仕組

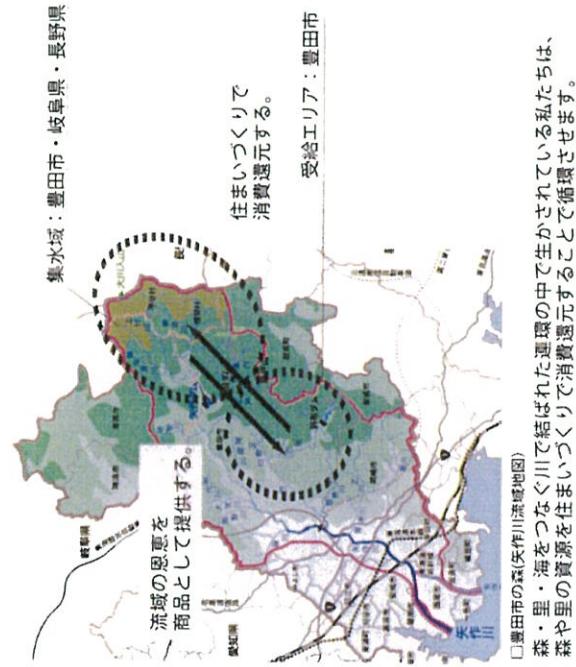
■ 豊田市森の豊富な資源を十分に利用します

木は光合成によりCO₂をたっぷり吸収して炭素を固定し成長します。伐採された炭素は、伐採されて木材となるからも、ずっと蓄積され続けます。また、木造住宅はS造やRC造に比べ、建設時のエネルギー消費量が少なく、一般的にはRC造に比べてCO₂の排出量が1/2に抑えられます。



環境と地域貢献 豊田市産材の利用

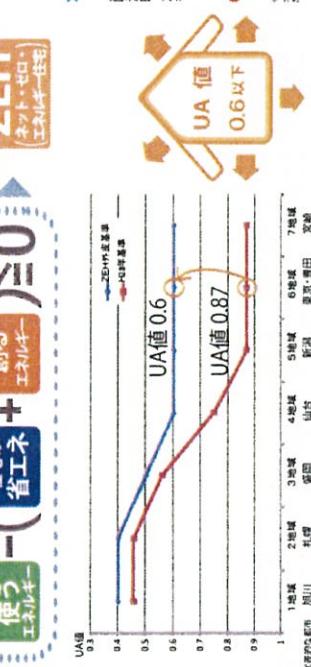
■ 木で家をたてるごと



断熱と健康 スマートウエルネス

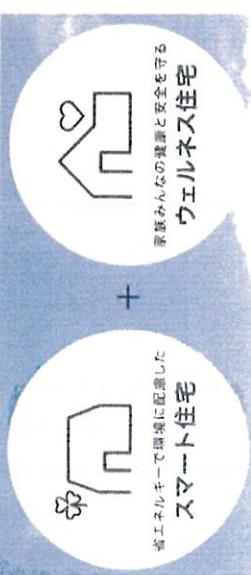
■ 良質な睡眠と内装木質化

2つの関係性について研究が進んでいます。人生において、長い時間を過ごす住まいは人の健康と密接に関わっています。人の健眠環境や地域環境にやさしい住まいを目指したスマートウエルネス住宅で「適切な温熱環境」、「正常な空気環境」、「快適な睡眠環境」、「安心安全な住まい環境」を実現することができます。大学機関と私たちグループの共同研究において、住宅を内装木質化が睡眠と知的生産性に影響があることなどが蓄積されています。

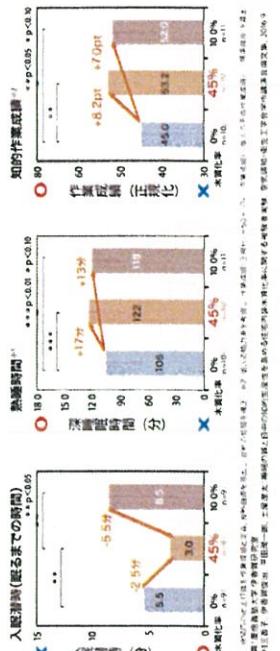


■ 住まいの高断熱化により、健健康な暮らしが期待できます

スマートウエルネス住宅とは、エネルギー効率の良い住宅（スマートウエルネス住宅）と、健健康で安心・安全に暮らせる住宅宅（ウエルネス住宅）の2つの性能を持ち合わせています。子育て世代、高齢者など多世代の健康維持・増進が図られる住まいを実現します。



私たちグループは、産官学の連携によって健健康に優しい住宅を発信する、スマートウエルネス体感ハイオリオンを運営するなど、スマートウエルネス住宅の普及を推進しております。また、豊田市とのよたエコフルダム内に環境に優しいスマート住宅を建設しています。国の指針である2030年に新築住宅の平均でZEH化することの目標に向け、住宅建設を推進しております。



内装木質化の比率による睡眠時間と知的生産性の違いについて

配置図

